

福岡証券取引所 IRフェア

2022年2月3日

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づき判断した予想であり、実際の業績等は様々なリスクや不確実性等の要因により大きく異なることがあります。



西部ガスホールディングス (証券コード：9536)



福岡証券取引所 IRフェア

2022年2月3日

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づき判断した予想であり、実際の業績等は様々なリスクや不確実性等の要因により大きく異なることがあります。



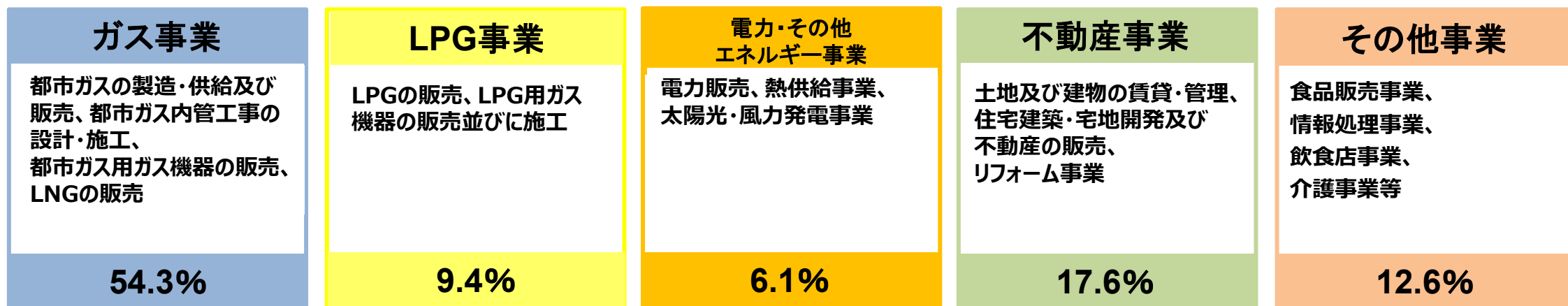
西部ガスホールディングス (証券コード：9536)

1. 西部ガスグループの概要	P. 2
2. 西部ガスグループビジョン2030	P. 7
3. 西部ガスグループ 主な事業の取り組み	P. 16
4. 株式情報、経営指標等	P. 25

1. 西部ガスグループの概要

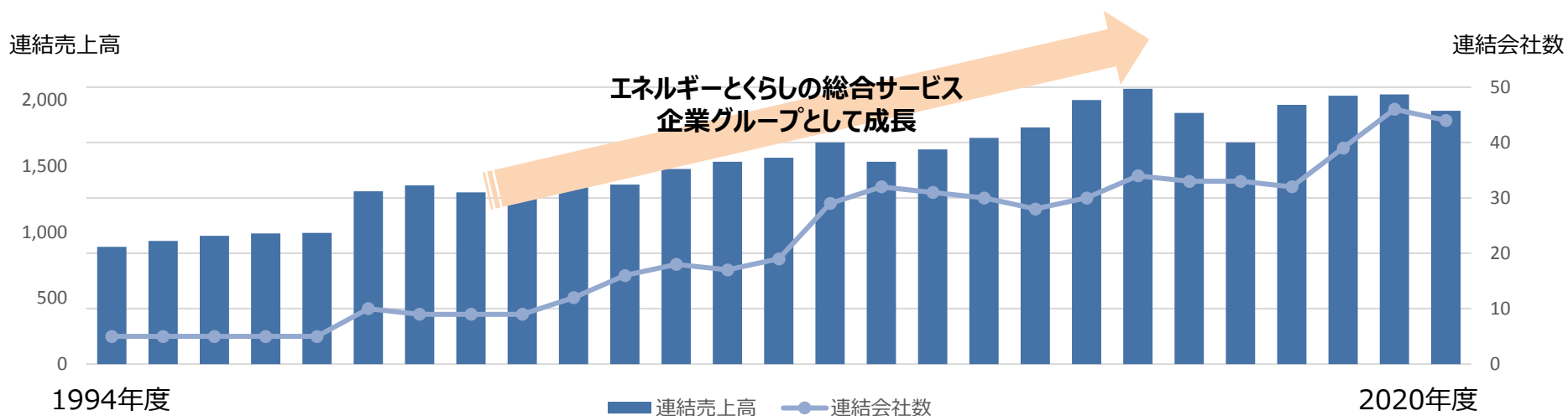
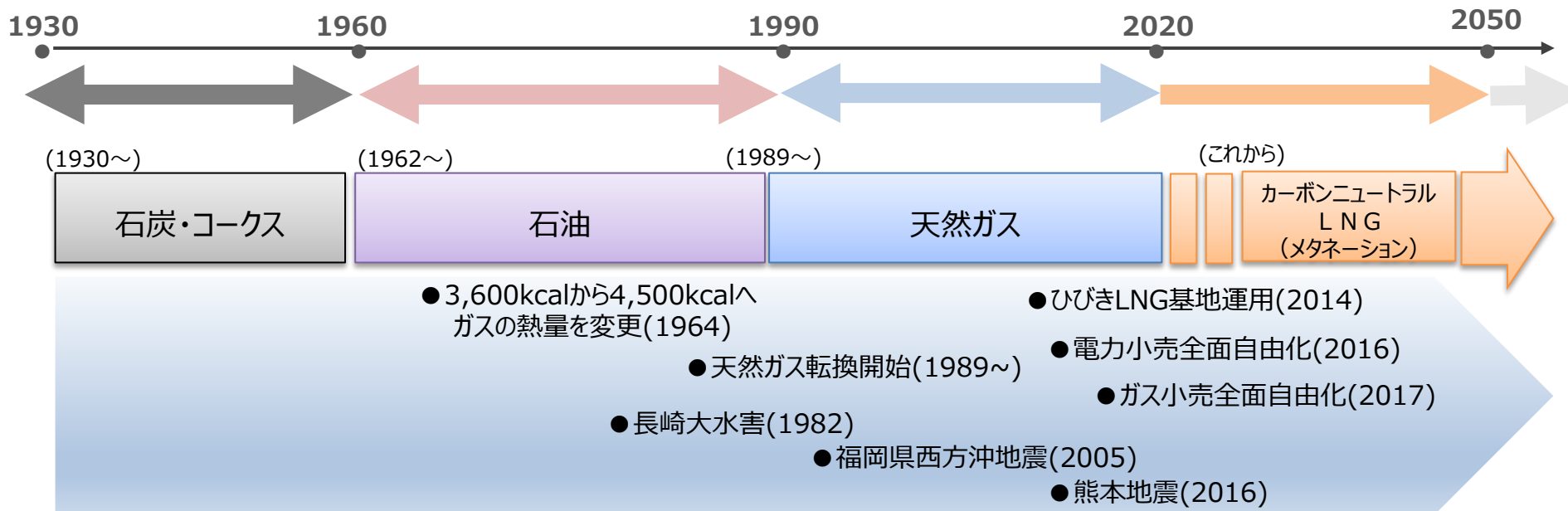
会社概要・事業セグメント

- 設立 : 1930年 (昭和5年)
- 資本金 : 206億円
- 従業員数 : 3,870名(連結)
- 連結子会社数 : 47社
- 上場市場 : 東京証券取引所(第1部※)、福岡証券取引所
(※ 新市場区分「プライム市場」申請済)
- 主な事業内容 :



※売上高構成比は2021年3月期

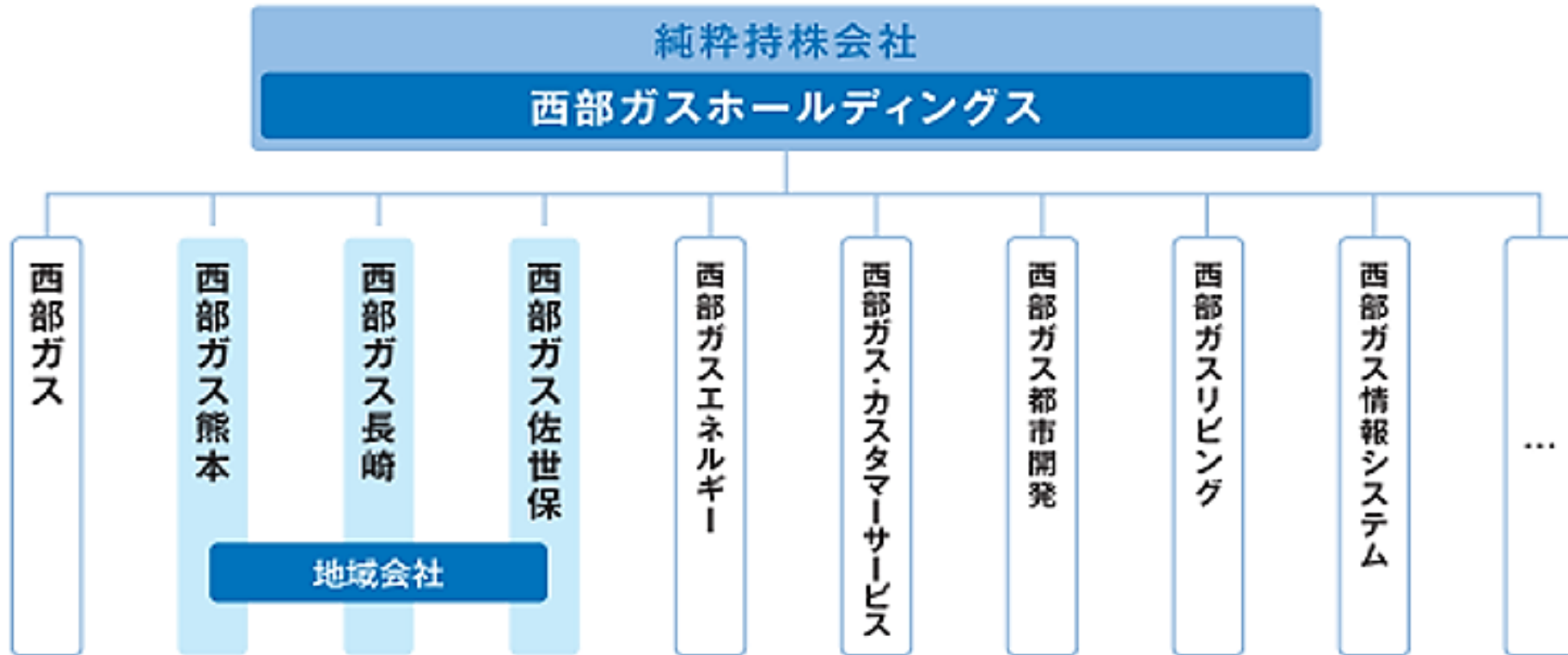
西部ガスグループの歴史



西部ガスグループ新体制

事業環境の変化に柔軟かつ迅速に対応し、グループ一体となって企業価値を拡大させていくため、2021年度より新体制による事業を開始しました。

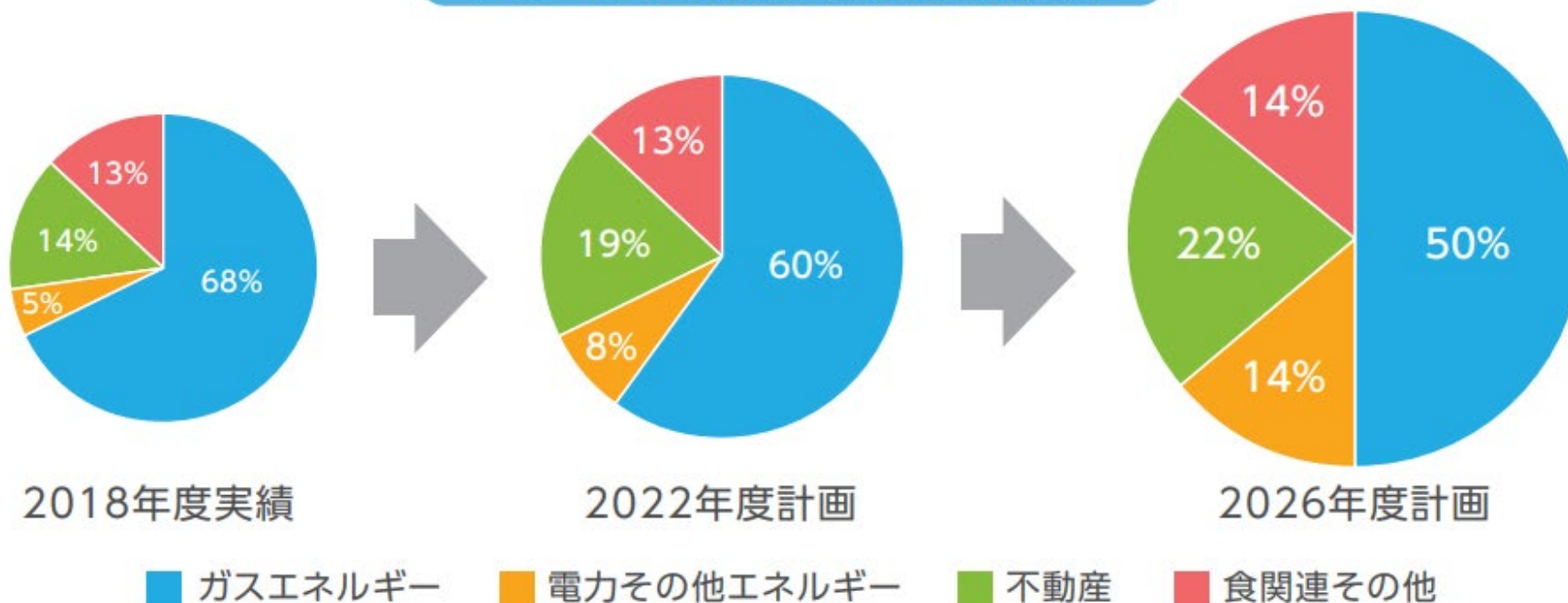
＜西部ガスグループ新体制（2021年4月1日）＞



グループ中期経営計画『スクラム2022』概要

ガスエネルギー事業をグループ事業の中核としつつ、不動産事業や国際エネルギー事業、食関連事業等を新たな収益の柱として成長させ、ガスエネルギー事業以外の売上高構成比を50%とすべく取り組みを推進しています。

グループ事業構成(売上高構成比)^{※2}



※1 国際エネルギー事業は、電力その他エネルギーに含まれます。 ※2 スクラム2019策定時と同一の前提条件(原油価格・為替)で算出しています。

2. 西部ガスグループビジョン2030

① グループ事業の広がり

西部ガスグループは、経営理念に掲げる「地域貢献」の想いに基づき、ガスエネルギー事業を軸に暮らしや社会に関わる多様な領域へと事業の幅を広げてきました。「地域貢献」の想いは普遍的なものとして「西部ガスグループビジョン2030」の核となっています。



② 果たすべき役割

思い描く社会の実現に向けて、社会の期待に応えながらその役割を果たしていきます。

《思い描く社会》

共創型のサステナビリティ先進社会

《西部ガスグループが果たすべき役割》

カーボンニュートラル・
循環型の社会

地球環境へ

- 気候変動というグローバルな課題の解決に向けて、カーボンニュートラルへの挑戦を通じ、エネルギー事業者としての責任を果たしていきます。
- 資源循環などの環境課題にも対応していきます。



地域・コミュニティに
活力ある社会

九州の社会・産業へ

- 地域からの信頼とグループの多様な事業・人財を活かして、九州の各地域の特色を活かした持続可能なまちづくりを支援し、地域と共に発展していきます。
- 住民、企業、スタートアップ、行政、大学等をつなぐイノベーションのハブとなります。
- 九州で培った経験、技術、ノウハウを基に事業やサービスを域外へも展開し、その成果を九州に還元します。



多様な暮らし方が
広がる社会

九州に暮らす人々へ

- 地域に暮らす人々にとって身近な存在として寄り添い、多様なニーズを汲み取り、一人ひとりの理想とするライフスタイルの実現を支えます。
- エネルギーや暮らしに関わる様々な事業を通じて、地域に暮らす人々の安全・安心を支えます。



③ ありたい姿

2050年の社会を見据え、西部ガスグループが創業100周年を迎える2030年のありたい姿です。

『人を、街を、社会をつなぎ、未来をつくる。』
西部ガスグループは「つながり」をチカラに
未来を変える価値の創造に挑み
持続可能で豊かな社会の実現をリードします。

西部ガスグループは創業以来、エネルギーと暮らしのサービスを通じて、地域の皆さまとつながり、信頼を築いてきました。このつながりと信頼は私たちの財産であり強みです。様々な環境・社会課題が顕在化していく中、想いを共にする個人、企業、行政などが、立場を超えて連携し、共に課題に対処する必要性が高まっています。

私たちは、これまでのつながりを深め、広げ、そして信頼を積み重ねながら、エネルギーと暮らしの総合サービス企業グループとして、より良い未来の実現をリードしていきます。



④ ありたい姿に向けた戦略

戦略1 地域のカーボンニュートラルの実現に率先して取り組みます

エネルギーの低・脱炭素化の推進

天然ガスシフトなどによる低炭素化を強力に推進します。また、再生可能エネルギーの普及拡大やメタネーション技術等の導入に取り組み脱炭素化に挑戦します。

【カーボンニュートラル2050】
※2021年9月28日発表



地域のステークホルダーと連携し カーボンニュートラル化に貢献

行政や学術機関など多様なステークホルダーとの連携のもと、カーボンニュートラルに関する技術開発やサービスの創出に取り組みます。



レジリエンスの強化による 更なる安全・安心の確保

エネルギー供給のバリューチェーン全体で安定供給体制と災害時の対応力強化を図り、お客さまの更なる安全と安心を支えます。

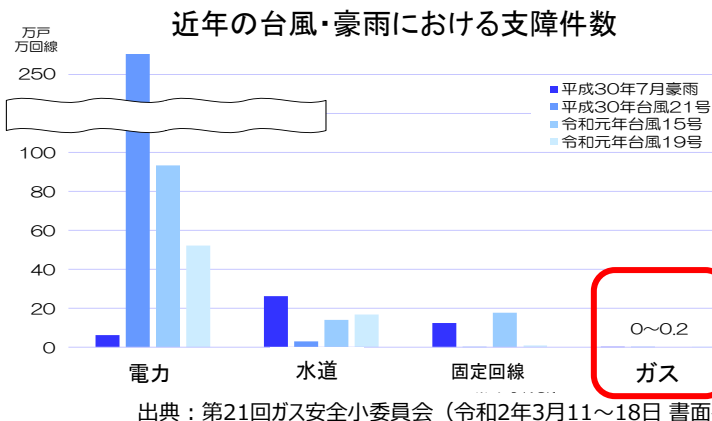


④ ありたい姿に向けた戦略

～都市ガスのレジリエンス性～

① ガスインフラのレジリエンス性

台風・豪雨などの影響少



迅速な復旧対応

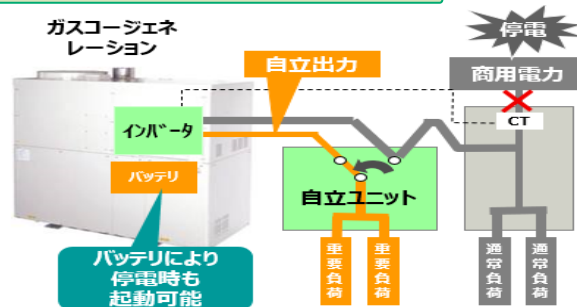
	復旧期間
東日本大震災 震度7 M9.0	54日
熊本地震 震度7 M7.3	15日
大阪北部地震 震度6弱 M6.1	7日

導管網の強靱性

高圧・中圧導管には、強度や柔軟性にすぐれた「溶接接合導管」を使用。

また、低圧導管は、地盤変動の影響を吸収し地震による損傷を最小限に抑えるポリエチレン管（PE管）を採用。

停電時に対応できる自立運転

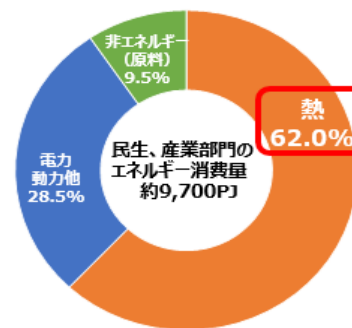


都市ガスを活用した停電対応型の分散発電
⇒家庭用には燃料電池エネファーム

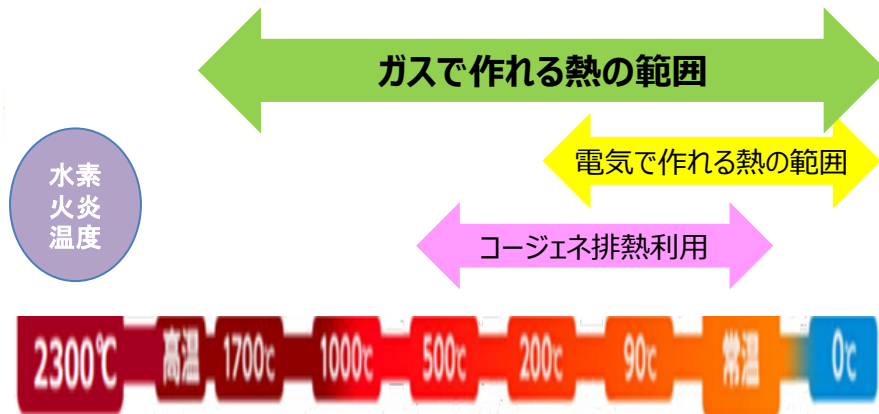
② 電化が極めて困難な温度領域も対応可能

消費量の多い熱エネルギー

■ 民生、産業部門の用途別エネルギー消費量



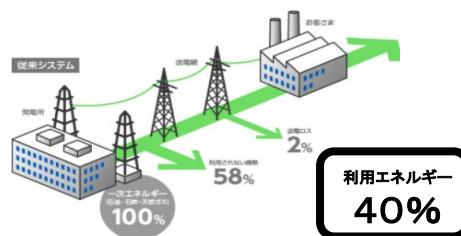
出典：2020年エネルギー白書を基にIGA作成



③ エネルギーロスが少ない ガスエネルギー

エネルギー効率の比較

従来システム



ガスコージェネレーションシステム



④ ありたい姿に向けた戦略

戦略2 サステナブルな暮らしや地域社会を支える価値を共創します

安心して住み続けられるまちづくり

地域住民や行政、パートナー企業などと共に、人と人が支えあい、コミュニティに賑わいとつながりのあるまちづくりに取り組みます。



多様な暮らしのサービス共創

社会や暮らしの多様なニーズに寄り添ったサービスの拡充、創出に向けて、既存事業の進化やスタートアップ等との共創に取り組みます。



活力ある地域経済を支える取り組み

地域密着の企業グループとして、雇用創出や産業振興などに地場企業、経済団体、行政などと共に取り組み、長期的な視点で地域経済の活性化に貢献します。



④ ありたい姿に向けた戦略

戦略3 未来志向で価値創造の基盤を強化します

変革意識と多様性を高める 人財戦略の推進

新たな価値創造や挑戦を後押し、変革をリードする人財を育成します。また、多様な人財が働きがいをもって活躍できる環境を整備し、ワーク・エンゲージメント(会社と従業員の心的つながり)を高めます。



新しい「つながり」を創出し お客さま価値を最大化

お客さまとの関係を深め、広げることで、新しい「つながり」を創出します。これらを通して、お客さまの豊かな生活を支える製品やサービスを提供していきます。



サステナビリティ経営の推進

多様なステークホルダーとの対話を大切に、環境・社会・経済の持続可能性に配慮した経営を推進します。ESG視点での事業リスクと機会のマネジメントを強化するとともに、TCFD^(※)に対応する等、適切な情報開示に努めます。



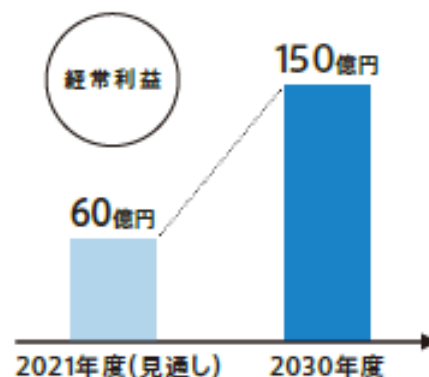
(※)気候関連財務情報開示タスクフォース

⑤ 経営指標の達成目標（2030年）

エネルギーとくらしの総合サービス企業グループとして
未来を変える価値の創造に挑み、以下の経営指標の達成を目指します。

財務指標（連結）

売上高 **2,500億円**
経常利益 **150億円**



カーボンニュートラルの 実現に向けた目標

CO ₂ 排出削減貢献量	150万トン
再エネ電源取扱量	20万kW
ガスのカーボンニュートラル化率	5%以上

◎カーボンニュートラルに関する詳しい情報は、「西部ガスグループカーボンニュートラル2050」をご覧ください。

3. 西部ガスグループ 主な事業の取り組み

ガス・電気小売事業の取り組み状況

ガス
エネルギー

不動産

電力その他
エネルギー

食関連
その他

ガスと電気トータルでの販売

お客さまにご満足いただける新たなサービスの拡充・提供等を通じて、ガスと電気のセット販売を強化しています。

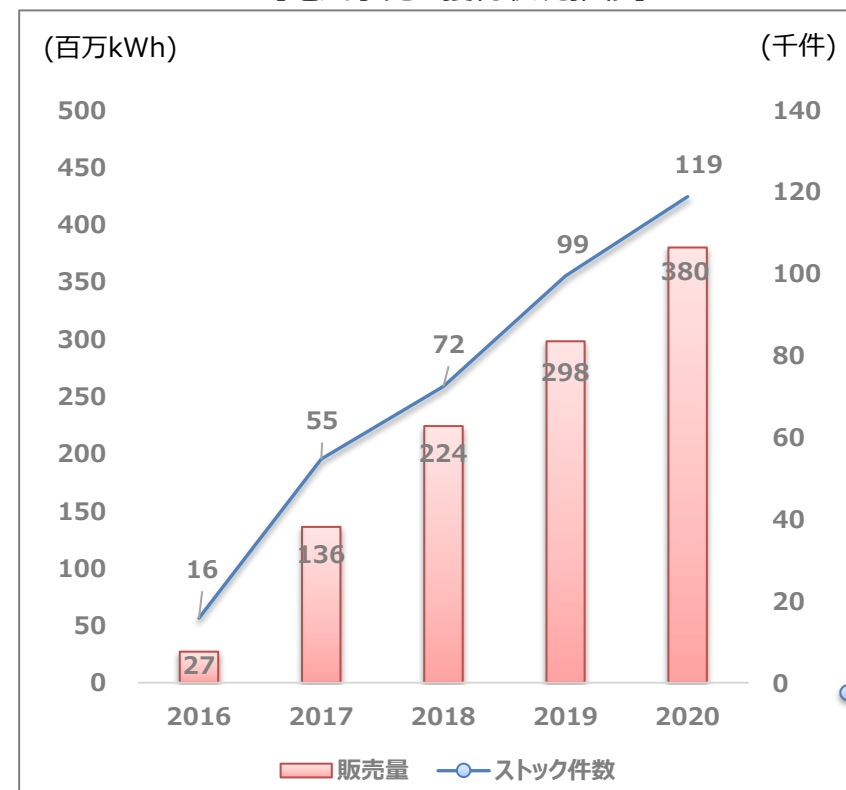


エネファームと太陽光発電の併設によるP P Aサービス

お客さまはエネファームと太陽光発電設備が発電した電気をご家庭で自由に使用可能。余剰電力は電力会社に売電されます。（売電収入は契約期間中は西部ガス(株)に譲渡）経済性、防災性、環境性の観点からメリットを享受頂ける新たなサービスです。



【電気小売の獲得状況推移】

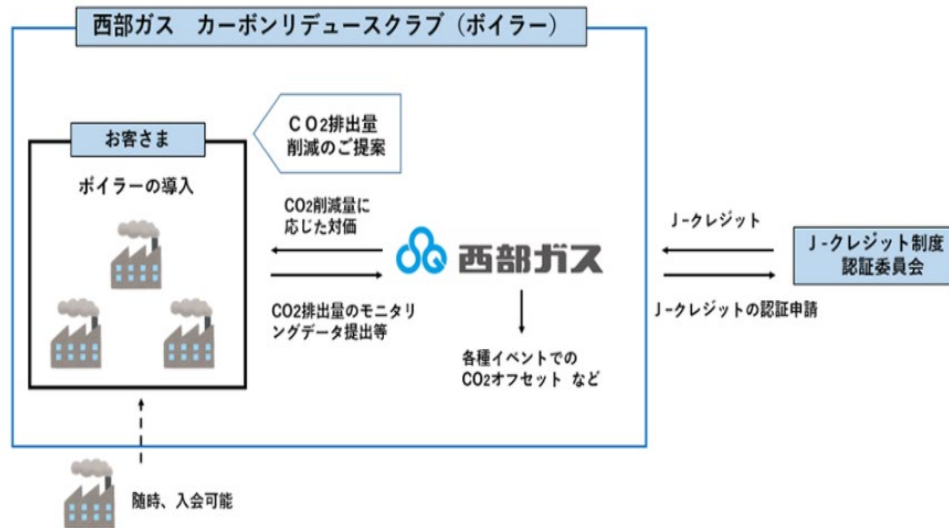


カーボンニュートラルの実現に貢献

お客さまのCO2削減につながるサービスの提供や、将来を見据えた新技術の共同研究など、カーボンニュートラルの実現に向けて新たな取り組みを加速しています。

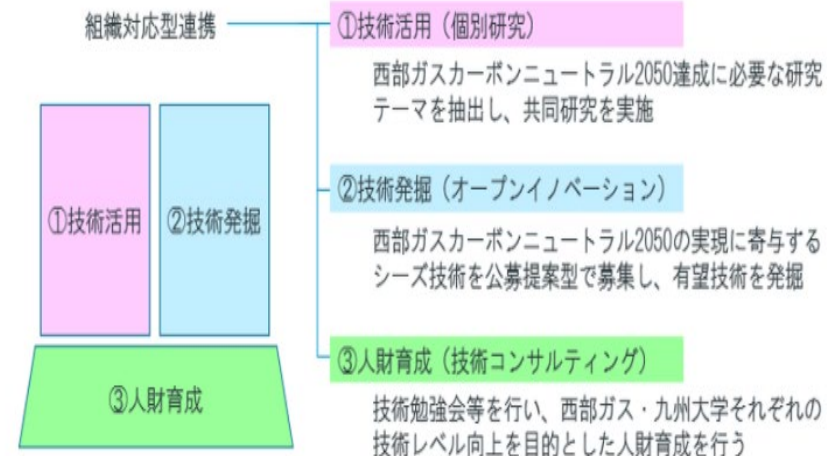
業務用のお客さまを対象としたCO2排出量削減支援

重油などから都市ガスへの燃料転換により削減したCO2排出量を西部ガス(株)がJ-クレジット認証申請しクレジットを創出します。お客さまには、CO2削減量に応じた金額が還元されます。



学術機関との連携強化

これまで水素活用に関する研究等で連携してきた九州大学と、「カーボンニュートラル化社会実現を支える技術の開発」に関する組織対応型連携契約を締結しました。カーボンニュートラルの実現に必要なメタネーション技術やCO2回収技術の共同研究、共同勉強会などを進めていきます。



北九州市響灘地区における最新鋭「LNGコンバインドサイクル発電所」開発を決定

2021年12月、九州電力(株)と共同で開発することを決定しました。発電方式にCO2排出量が少ない最新鋭のコンバインドサイクルを採用し、将来的にはカーボンフリー燃料(水素等)の活用も視野に入れた設備となっております。

本発電所の開発により、2050年カーボンニュートラルの実現に向け、九州地域の発電設備の低・脱炭素化を進めることが可能となります。

【ひびき天然ガス発電所(仮称)建設予定地位置図】



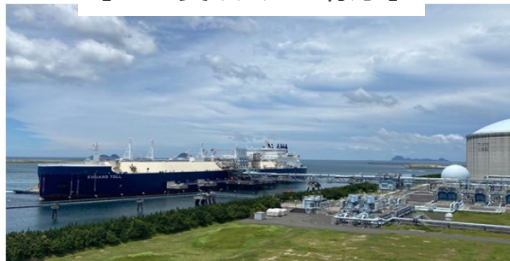
【ひびき天然ガス発電所(仮称)完成イメージ図】



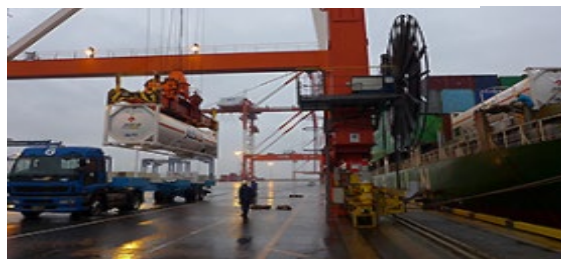
ヤマルLNGプロジェクトからのLNGの受入れ

2021年7月、ひびきLNG基地にてロシア・ノバテク社のヤマルLNGプロジェクトから大型砕氷LNG船による約7万tのLNGを初めて調達しました。
ノバテク社のLNGを受け入れるのは今回が初めてであり、当社グループが推進するひびきLNG基地を活用した海外出荷向けとして調達したものです。

【LNG受け入れの様子】



【ISOコンテナによるLNG出荷】



LNG積替事業に関する基本合意書の締結

2021年11月、ノバテク社の子会社であるノバテク・ガス・アンド・パワー・アジア社と、ひびきLNG基地を活用したツァチアン ハンジャシン クリーン エナジー社（中国 嘉興市）向けLNG積替、供給事業に関する基本合意書（HOA）を締結しました。

本積替事業は、ノバテク社の砕氷LNG船等標準船（7万トンの程度）で輸送された後、ひびきLNG基地へ受入れたLNGをタンクへ貯蔵後、中型LNG船に積替えて、2024年度からを目処に年間14万トンを中国Jiaxing（チャーシン）LNG 基地へ出荷するものです。

ノバテク・ガス・アンド・パワー・アジア社 概要

会社名	Novatek Gas & Power Asia Pte. Ltd.
所在地	50 Collyer Quay #05-04 OUE Bayfront Singapore 049321
事業内容	液化炭化水素の販売事業 アジア太平洋地域における販売・流通にかかるコンサルティング事業

再生可能エネルギーの普及拡大

当社グループは、2012年4月に再生可能エネルギー事業を担うエネ・シード(株)を設立し、太陽光発電および風力発電事業に取り組んでいます。

2021年3月、新たに太陽光発電所2カ所の運用を開始しました。

当発電所は、当社グループの太陽光発電事業としては11、12カ所目となるもので、当社グループの再生可能エネルギーの発電規模は、合計45.9MWとなります。

【エネ・シード飯塚太陽光発電所】



【北九州市響灘の洋上風力発電プロジェクト
(2026年4月運開予定) 写真はイメージ】



船舶向けLNG燃料供給の事業化検討

2021年9月、伊藤忠エネクス(株)、九州電力(株)、日本郵船(株)と、九州・瀬戸内地域における船舶向けのLNG燃料供給の事業化に向けた共同検討に関する覚書を締結しました。

九州・瀬戸内地域での事業開始に向け、具体的な供給先や、Ship to Ship 方式による供給に必要なLNG燃料供給船の建造・保有について共同で検討を進めています。

【バンカリングの様子】



不動産事業の推進

分譲マンションや分譲戸建販売の事業に取り組み、これまでの累計販売戸数は約9,600戸にのびます。
また、グループの賃貸事業用不動産の新規取得や商業施設の開発業務等を西部ガス都市開発(株)に機能を集約し取り組みを強化しています。

西部ガス都市開発(株)の取り組み事例 (元岡地区研究開発次世代拠点形成事業)

福岡市が九州大学と連携し研究開発拠点の形成を進める事業の事業予定社の1社に選定されました。

西部ガス都市開発(株)と大和ハウス工業(株)が事業主体者として土地を購入し、複合施設を開発します。

福岡市や九州大学との連携・協働を促進することで、地域に密着したサービスを展開していきます。



研究開発・交流・生活利便・居住機能を有する施設の共同開発を予定。
(2022年10月開業予定)

アメリカでの倉庫業への出資

三菱商事(株)傘下の北米不動産投資会社と共同で事業参画。
2021年2月に入居テナントが決定し、10月に売却・引き渡しが完了しました。

概要

物件名	VALLEY VIEW TRADE CENTER
所在地	ペンシルベニア州スクラントン
物件規模	建物1棟 (約29,000坪)
竣工	2020年8月

タイでの不動産事業の展開

現地法人と地場ディベロッパーの合併による戸建分譲事業やコンドミニアムの取得などを行っています。

戸建分譲事業については、2020年6月から販売を開始しており、契約戸数は概ね計画通りに推移しています。

【販売している戸建の外観(イメージ)】



フィリピンでの不動産住宅事業

グループ会社の九州八重洲(株)が不動産住宅事業として、フィリピンで戸建・タウンハウスの企画、開発、販売を行っております。
現地企業とのパートナーシップによりこれまで10件のプロジェクトに参画。

【海外不動産住宅事業】



食関連その他事業は、ガス事業との親和性の高い事業であることから、グループ事業の多様化のために、事業拡大を図りつつ、コロナ禍等による環境変化を踏まえ、必要な対策を講じていきます。

食関連事業

飲食店のフランチャイズチェーンの運営に参入
2020年12月カルビ丼とスン豆腐専門店「韓丼」出店

【目的】 西部ガスグループのブランドを活かしたフランチャイジーとなり、食関連事業の拡大



店舗外観イメージ

温浴事業

2019年12月「ヒナタの杜小戸の湯どころ」をオープン

【目的】 エネルギー供給の拡大やグループ事業の収益拡大

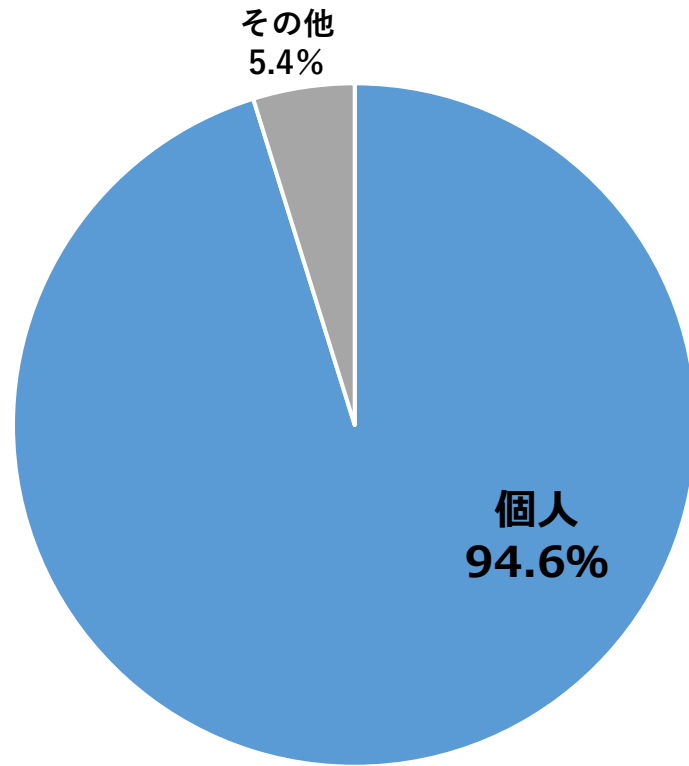


ヒナタの杜 小戸の湯どころ

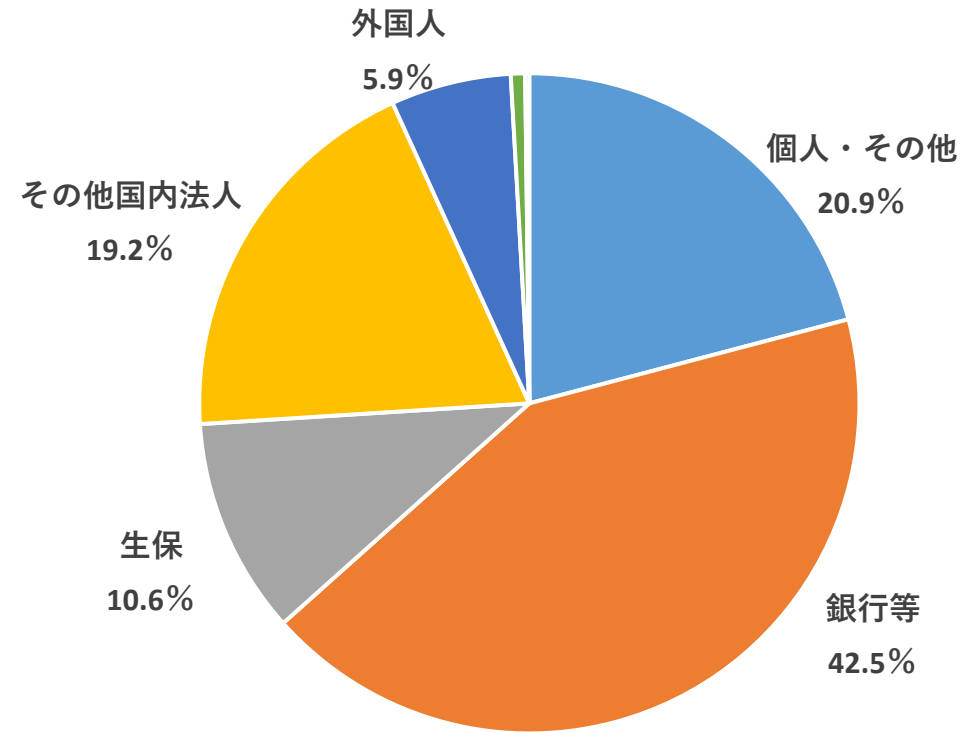
4. 株式情報、経営指標等

株主・株式分布状況

■ 株主分布状況



■ 株式分布状況



※いずれも2021年9月30日現在

■ 「安定配当」が基本方針

西部ガスの配当利回り※

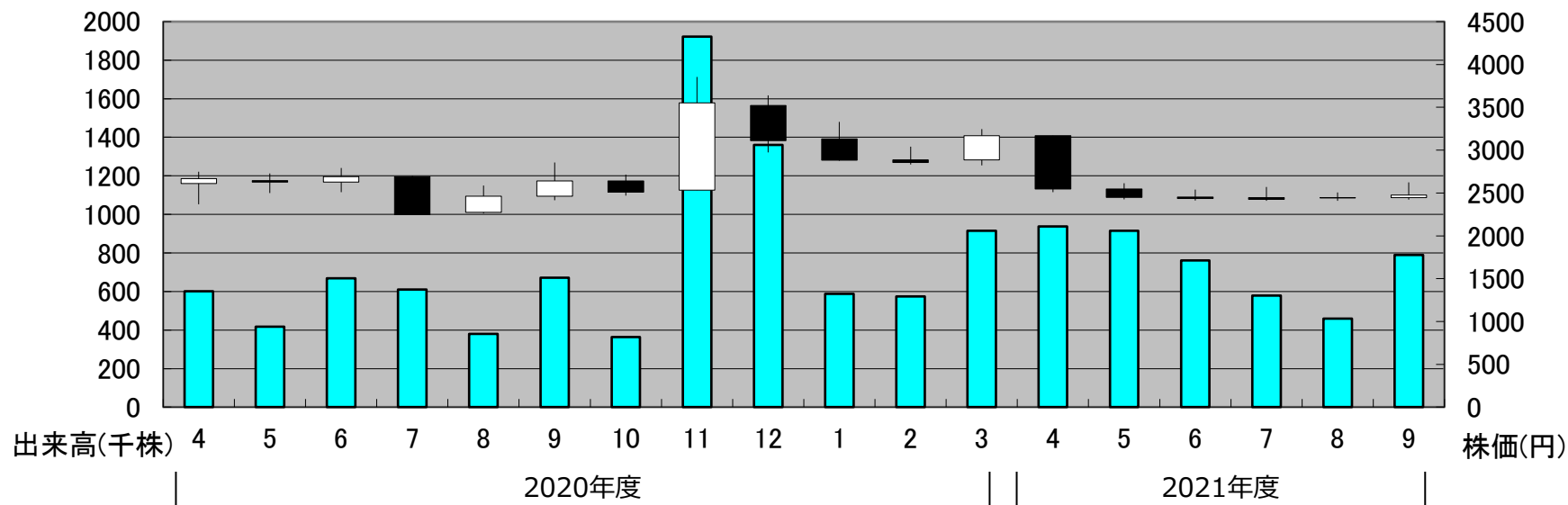
3.3%

※2021年12月30日現在

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
年間配当 (円/株)	70	70	70	70	70

※上記は、2017年10月1日付で実施した株式併合が、2016年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

■ 株価及び出来高の推移 (東京証券取引所)



2021年度 見通し

収支

(単位：百万円)

項目	2021年度 見通し	2020年度 実績	増減	増減率
売上高	205,000	191,993	13,007	6.8%
営業利益	500	4,851	▲4,351	▲89.7%
経常利益	500	4,558	▲4,058	▲89.0%
親会社株主に帰属 する当期純利益	500	1,794	▲1,294	▲72.1%

原油価格・為替レート

項目	2021年度 見通し	2020年度 実績	増減
原油価格 (\$/bbl)	68.9	45.7	23.2
為替レート (円/\$)	110.9	106.1	4.8

販売量

(単位：百万m³)

項目		2021年度 見通し	2020年度 実績	増減	増減率
ガス 販売 量	家庭用	230	239	△9	△3.8%
	業務用	552	513	39	7.5%
	卸供給	119	111	8	7.3%
	計	901	863	38	4.3%

設備投資

(単位：億円)

2021年度 期末見通し	2020年度 期末実績	増減	主な内容
270	209	61	不動産事業関連 87

有利子負債

(単位：億円)

2021年度期末見通し	2020年度期末実績	増減
2,725	2,643	82

経営指標（連結）

	2020年度実績	2021年度見通し	2022年度計画
都市ガス販売量	863百万m ³	901百万m ³	1,030百万m ³
LPガス販売量	108千トン	103千トン	110千トン
LNG販売量	63千トン	66千トン	80千トン

(百万円)

	2020年度実績	2021年度見通し	2022年度計画
売上高	191,993	205,000	240,000
経常利益	4,558	500	32,000※1
ROA	0.5%	0.9%	1.8%
ROE	2.3%	4.1%	8.3%
自己資本比率	20.5%	20.5%	21.8%

※1 2020~2022年度 計画合計